

ドッジボールでスポーツの素晴らしさを身につけよう

—練習は不可能を可能にする—



開倫ユネスコ協会 会長
林 明夫

コロナ禍、ロシアによるウクライナ侵略、ハマスによるイスラエル侵略とイスラエルによるガザ地区への報復、さらには、トランプアメリカ大統領による高率関税など、様々な厳しい状況が続く中、「開倫ユネスコ杯国際親善大会」にご参加頂き、ありがとうございます。心から感謝いたします。



1. <はじめに>

「戦争は人の心の中で生れるものであるから、人の心の中に平和のとりでを築かなければならない」とのユネスコ憲章の下、「人間の安全保障(Human Security)の推進」を基本理念に、2001年に日本ユネスコ協会連盟より承認され、設立された開倫ユネスコ協会は、栃木県ドッジボール協会杯や各県のドッジボール協会様のご指導を受け、青年の健全育成を目指し、20数年にわたり、開倫杯ドッジボール大会を開催させて頂いております。皆様のご理解、ご協力、本当にありがとうございます。

2. 皆様は、ドッジボールをはじめ、スポーツの素晴らしさは、何だとお考えですか。私は、次の3つであると考えます。

(1)第1は、スポーツを通して「練習は不可能を可能にする」ということを実感できることです。ドッジボールをはじめ、すべてのスポーツは練習すればするほど、スキル（技術）がどんどん向上するからです。

(2)第2は、「フェア・プレーの精神」です。ドッジボールをはじめ、すべてのスポーツには、ルールがあり、ルールの中でのプレーが求められます。また、ルールを守るだけでなく、卑しいプレーをしないことが求められます。ルールの中でプレーをすること、卑しいプレーをしないこと、また、自分のチームと同じように相手のチームも尊いものと尊敬することを「フェア・プレーの精神」と考えます。ドッジボールを通して、「フェア・プレーの精神」を身につけてください。

(3)第3は、「よき友」です。ドッジボールをはじめ、スポーツに打ち込むことで、同じスポーツに打ち込む、「よき友」ができます。相手チームの皆様も「よき友」です。



3. <おわりに>

(1)皆様が、今日、この大会で、思い切りプレーができるのは、これまで、皆様を育ててくださった、ご家族の皆様、指導してくださったコーチ・監督の皆様はじめ、周りの人達のお陰です。感謝の気持ちを大切に、今日一日、練習の成果を存分に発揮し、元気にプレーをしてください。

(2)また、大会にご参加くださいました選手・保護者・監督・コーチの皆様、そして、審判員や関係各位の皆様、観戦の皆様にも、心よりお礼を申し上げます。ありがとうございます。今後とも、ご指導ご協力の程、よろしくお願い申し上げます。

(3)栃木国体の会場にもなった素晴らしい「日環アリーナ」での大会実現に多大なご協力を賜った皆様と、福田富一 栃木県知事に、心から感謝申し上げます。ありがとうございました。

(4)ドッジボールで、コロナ禍に負けない、心と体を鍛え、また、友情を育み、明るく、楽しく、元気よく過ごしてまいりましょう。ありがとうございました。

開倫塾 塾長、開倫塾日本語学校校長
宇都宮大学大学、作新学院大学客員教授
一般社団法人 栃木県生産性本部 会長